

米国 9ヵ月連続で減少（09年10月消費者信用残高）

発表日：2009年12月8日（火）

～均してみるとリボルビングは減少ペース加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

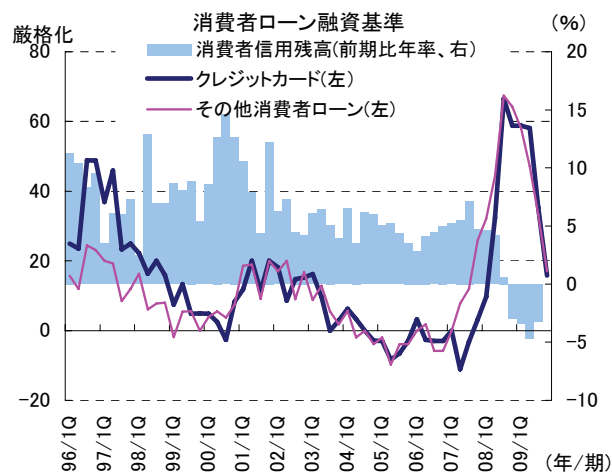
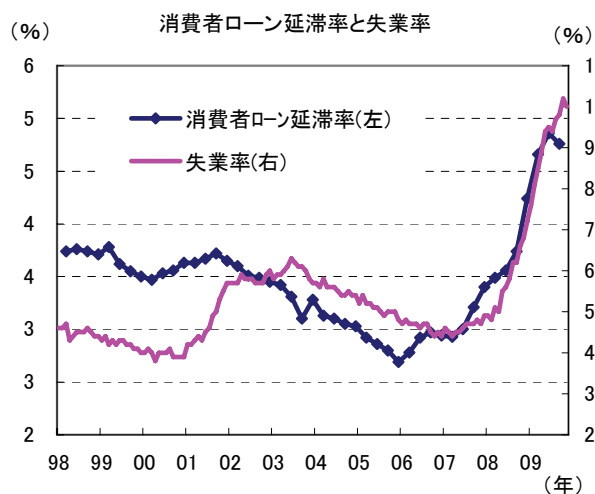
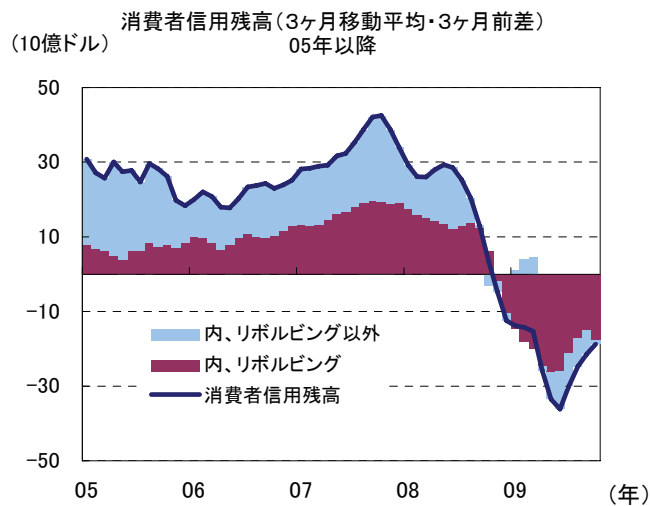
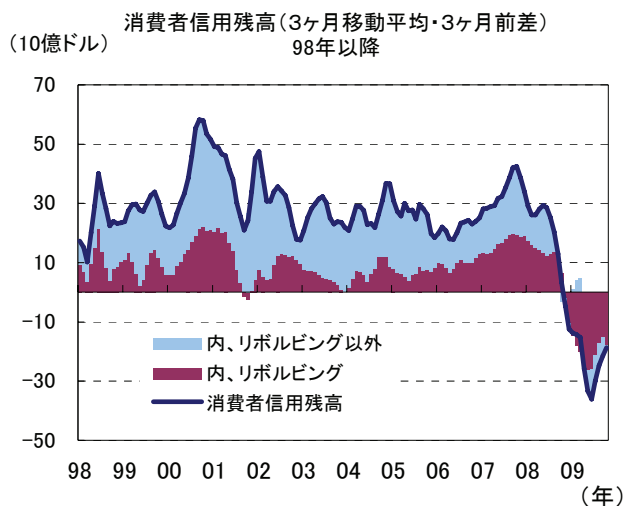
副主任エコノミスト 近江澤 猛

03-5221-4526

- 09年10月の消費者信用残高（季節調整済）は2兆4829億ドル、前月差▲35億ドル（前月比年率▲1.7%）と、市場予想の同▲94億ドルを下回る減少となった。前月比での減少は9ヵ月連続で、1943年の統計開始以降で最長を更新した。本統計は月次での変動が大きいことから3ヵ月移動平均・3ヵ月前差で均してみると▲180億ドルと、9月▲214億ドルから減少ペースは小幅鈍化したが、インセンティブにより自動車販売が支えられていることで自動車ローンが押上げられていることが要因と見られる。雇用環境の悪化により消費者ローン延滞率は高水準にあり、消費者ローンの融資基準も厳しい状況が続いたことに加え、家計はバランスシート調整を続けていることから、消費者信用残高は減少基調が続いた。
- 内訳はリボルビング（クレジットカード等）が前月差▲70億ドル（前月比年率▲9.3%）と前月同▲79億ドル（同▲10.5%）から減少幅は小幅縮小したが、3ヵ月移動平均・3ヵ月前差で均してみると、減少ペースは再び加速した。リボルビングの減少は08年10月から13ヵ月連続で、リーマンショック以降の減少基調に変わりはない。リボルビング以外（自動車ローン、モービルホームローン、教育ローン等）は、同+34億ドル（同+2.6%）と前月同▲8億ドル（同▲0.6%）から増加に転じたが、インセンティブにより自動車販売が下支えされ、自動車ローンが増加しているものと見られる。
- 先行きの消費者信用残高だが、大幅に需給ギャップが拡大したことから今後も失業率が高水準で推移すると見られ、雇用環境の悪化により消費者ローンの延滞率も高水準で推移することが予想される状況で、金融機関の貸出態度も緩和するには時間がかかることに加え、家計も資産価値の減少に伴いバランスシートの調整を続けるとみられることから、消費者信用残高は当面減少基調が続こう。

	消費者信用残高(10億ドル)			リボルビング(10億ドル)		リボルビング以外(10億ドル)	
		前月差	前月比年率(%)		前月差		前月差
08/11	2564.5	▲ 10.5	▲ 4.9	964.0	▲ 6.9	1600.6	▲ 3.6
08/12	2559.1	▲ 5.4	▲ 2.5	957.3	▲ 6.6	1601.8	1.2
09/01	2564.4	5.3	2.5	955.4	▲ 1.9	1609.0	7.2
09/02	2551.4	▲ 13.0	▲ 6.1	942.7	▲ 12.7	1608.7	▲ 0.3
09/03	2537.0	▲ 14.4	▲ 6.8	934.3	▲ 8.4	1602.7	▲ 6.0
09/04	2522.3	▲ 14.6	▲ 6.9	925.9	▲ 8.3	1596.4	▲ 6.3
09/05	2515.3	▲ 7.1	▲ 3.4	916.6	▲ 9.3	1598.7	2.3
09/06	2506.8	▲ 8.5	▲ 4.1	911.7	▲ 4.9	1595.1	▲ 3.6
09/07	2498.5	▲ 8.3	▲ 3.9	911.0	▲ 0.7	1587.5	▲ 7.6
09/08	2495.1	▲ 3.4	▲ 1.6	903.0	▲ 8.0	1592.2	4.7
09/09	2486.4	▲ 8.8	▲ 4.2	895.0	▲ 7.9	1591.3	▲ 0.8
09/10	2482.9	▲ 3.5	▲ 1.7	888.1	▲ 7.0	1594.8	3.4

（出所）FRB



※3大自動車メーカー傘下のファイナンス会社利用者の借入額平均

(出所)FRB、米労働省

